

電力供給に万全を期し、北陸地域の皆さまと共に、 成長・進化する北陸電力グループを目指します



はじめに、本年3月の東日本大震災により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

設備全般の安全確保と電力供給に 万全を期します

今回の震災により、東京電力株式会社福島第一原子力発電所において重大な事故が発生し、同じ原子力事業に携わる企業として、大変深刻な事態と受け止めております。

当社はこの事故を踏まえ、志賀原子力発電所の安全性を更に高めるため、津波等に対する「安全強化策」を取りまとめました。このうち、すでに4月中に実施済の「安全対策」により、津波で重要設備が機能喪失した場合でも、深刻な原子力災害には至らないと考えておりますが、今後2年程度で「更なる対策」を実施し、一層の信頼性向上を図ってまいります。今後、国等により事故の詳細な解明が行われることとなっており、その内容、原因等を踏まえた対策についても適切に対応してまいります。

地域の皆さまには、これらの対策をはじめとする原子力の安全性について、わかりやすく丁寧にご説明し、ご理解とご安心をいただけるよう最大限努力してまいります。

また、原子力以外の発電設備や流通設備などにつきましても、巨大地震・津波等に備えた安全確保対策を着実に実施してまいります。

当社グループは、ライフラインを担う事業者として、設備全般の安全確保に万全を期し、大規模災害等のリスク発生に備えた対応力を一層強化していくことにより、電力供給に全力を尽くしてまいります。

また、これまで推進してきた安全最優先とコンプライアンス徹底のもと、現場技術力など品質の基盤となる専門知識・能力を高めるとともに、たゆまぬ改善・改革に努めてまいります。

低炭素社会の実現に向けた 需給両面での取組みを推進します

当社グループは、低炭素社会の実現に向けて、お届けするエネルギーの低炭素化と、お客さまにエネルギーをより一層効率的にご利用いただくための取組みを進めております。

お届けするエネルギーの低炭素化につきましては、わが国のエネルギー自給率が4%であることを考えますと、将来にわたる安定供給の確保や環境保全などの観点から、原子力発電は引き続き重要であると考えており、安全性を十分確保したうえで、安全・安定運転に努めてまいります。また、CO₂排出量を大幅に抑制できるLNG(液化天然ガス)を燃料とする当社初のコンバインドサイクル発電を導入するとともに、再生可能エネルギーの導入拡大を着実に進めてまいります。

一方、お客さまに対しましては、電気を一層効率的にご利用いただくための提案など、省エネルギーへの取組みを優先的に実施してまいります。

「北陸地域との共存共栄」に向けて 取り組みます

当社グループは、地域に根ざした企業として、地域の皆さまとの信頼関係が最も大切であると考えております。エネルギー・環境に関して相互理解を深める活動に取り組むとともに、地域の課題解決など、活性化への支援・協力を行ってまいります。また、地域の環境保全にも継続的に取り組んでまいります。

当社は本年5月をもちまして、創立60周年を迎えることができました。これもひとえに、皆さまの深いご理解とご支援によるものであり、心から感謝を申し上げます。

創立以来、当社が事業運営の原点としてきた「北陸地域との共存共栄」の精神のもと、以上の取組みを着実に実施することで、社会的信頼を高め、北陸地域の皆さまと共に、持続的に成長・進化する北陸電力グループを目指してまいります。

今後とも、従業員一人ひとりが、公益事業者としての誇りと使命感を胸に、ステークホルダーの皆さま(お客さま、地域社会、株主・投資家、取引先、従業員)からのご期待・ご要望に誠実かつ適切にお応えし、CSR(企業の社会的責任)を実践していくことで、信頼関係をしっかりとつないでいきたいと考えております。

是非このレポートをご一読いただき、私たちのCSRの取組みについて、ご理解を賜りますとともに、忌憚のないご意見を心からお待ちしております。